

持続可能な水産業のための 統合的沿岸域モニタリングシステムの開発

代表機関：株式会社MizLinx

実施年度：2024年度～ 2025年度（フェーズ0）

キーワード：水産、環境、IoT

研究代表者：野城 菜帆



沿岸域観測・解析システムを開発して多点・多種のデータを取得し、
沿岸域における陸域と海域の相互の影響を解明することにより持続可能な水産業への貢献を目的とする。

背景・目的

- 水産業に影響を及ぼす環境問題は農工業などの陸域での経済活動や温暖化をはじめ、陸海横断の要因で生じている。
- 持続可能な水産業を実現するためには、陸域と海域を沿岸環境として統合した理解が必要。



突然死した養殖魚

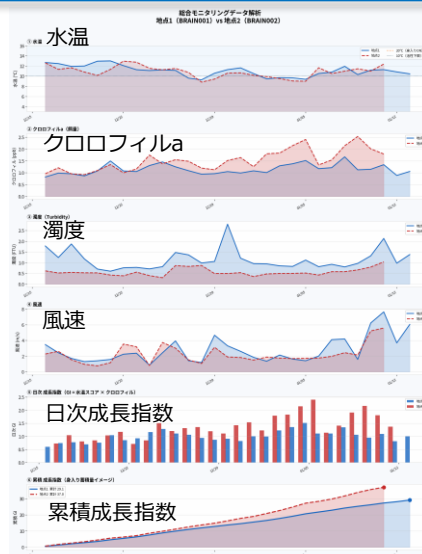
研究成果 統合的沿岸域モニタリングシステムの開発

- 漁業者知見の収集体制：現場の養殖業者より操業情報や成育実感をヒアリングし、観測データとの因果関係を分析するための体制を構築した。
- データ取得：観測システムを石川県七尾市の牡蠣養殖場2ヶ所に設置した（図1）。
- 牡蠣の成長指数（Growth Index; GI）：漁業者の経験的知見を定量化した独自の成長予測指数を開発した（図2）。



図1

図2



今後の展開方向

事業構想



観測機器販売料
350万円～/台



データ活用コンサルティングサービス料
数百万円～/件



システム利用料
月額1～5万円前後

サービス提供

利用料
データ



国・自治体・民間企業

サービス提供

データ



一次産業従事者

<代表機関概要> 株式会社MizLinx

■HP：<https://mizlinx.com>

■所在地：〒116-0003 東京都荒川区南千住8丁目5番7号白鬚西R&Dセンター216号室

■連絡先：info[アット]mizlinx.co.jp [アット]を@に置き換えてください。